

(2) 食品事業者に対する栄養知識の啓発が図れた

(参加店アンケート「1回の食事に必要な量(120g)が理解できた(77.6%)」、「主食・主菜・副菜のバランスが理解できた(50.6%)」)

(3) 地域の市、食育推進関係者等との協働が図れた

3市の健康主管課・経済主管課・商工会・J A東京南・食育推進関係者・食品衛生協会と推進委員会、実行委員会を設置し、キャンペーンを進める中で、顔の見える関係づくりにつながった。

(4) 市民の生活習慣病やメタボリックシンドローム予防の一助になる食環境整備に着手できた

5 今後に向けて

地域における食環境整備を推進し、定着させていくためには、保健所と食提供者だけで取り組むのではなく、市民や関係機関も参加・連携して、幅広くそれぞれの取り組みとして自立し、発展していくことが望ましい。

本事業で実施した「グッドバランスメニューキャンペーン」においては、推進委員会、実行委員会を設置し、飲食店代表、市健康主管課、経済主管課、商工会・商工会議所、東京南農業協同組合、管内の大学教授、消費者団体等に参加していただいた。

このことにより、

- ・飲食店にとっては参加により利用者が増加した
- ・市民にとっては、健康に配慮したメニューを美味しく手軽に利用することができた
- ・市経済主管課及び商工会・商工会議所が目指している、地域の活性化に寄与した
- ・管内各市健康主管課及び保健所にとっては、地域の住民の健康づくりの向上の一助となった

など、さまざまな人々に多様な利益をもたらす、「三方良し(売り手良し・買い手良し・世間良し)」の事業となり、今後の方向性をつかむことができた。

加えて、事業を実施を通して、目標である「バランスが良く、野菜の多い食事」の必要性について、関係者が理解し、さらに推し進めていこうという機運が生まれたことは、大きな成果といえる。

◆まとめ

「グッドバランスメニューキャンペーン」の実施を通して、地域の食育推進関係者との顔が見える関係づくりができたとともに、管内3市に103店舗の健康に配慮したバランス食を提供する飲食店を増やすことができ、事業目標をほぼ達成した。

また、キャンペーンの実施により参加店の活性化が図れたとともに、参加店の野菜やバランスに関する知識・理解への体得につながった。

なお、実施にあたり健康づくり調理師研修会、各種講習会、食育シンポジウム、食育推進関係者ネットワーク会議、イベント等を相互に活用し展開した。事業を通して管内3市・商工会・JA・食品衛生協会等との連携もはじまった。

25年度以降は、今回の参加店に引き続き参加していただけるよう工夫をしつつ、本事業で顔の見える関係ができた団体等と、さらなる連携を探りながら、より多くの地域の住民、団体等に参加していただける取り組みにすることにより、「健康的な食環境整備事業」が地域に定着していくことを目指していく。

◆既存事業の活用例：食育シンポジウム H25.2 グッドバランスメニューキャンペーンの報告会を兼ねて開催

南多摩保健所通信

平成25年2月21日
No.2

平成24年度食育シンポジウム

「たっぷり野菜でグッドバランス～野菜からはじめる食育の推進～」を開催



2月12日、南多摩保健所では、多摩市の永山公民館ヘルプホールにおいて、平成24年度食育シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは10年以上前から毎年開催しているもので、圏域内5市(八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市)の行政機関や給食施設等の栄養士、調理師等食育関係者や飲食店、農業関係者等約120名余りの参加がありました。

前半の特別講演では、NHK「趣味の園芸やさいの時節」でおなじみの恵泉女学園大学の藤田智教授より「野菜で元気になる！」をテーマに御講演いただきました。

農産物直売所で消費者の言葉が生産者を元気にした事例、ゴミだらけの土手を変えた草花の力などのお話、自給率、食育事例、野菜の魅力など、盛りだくさんの内容を多方向から、写真やムービーを交え語っていただきました。野菜の力を感じる講演でした。

後半は「野菜をもっと食べてもらうために」をテーマに、実践女子短期大学白尾美佳教授をコーディネータにシンポジウムを行いました。基調講演では白尾教授から、食育を通して野菜を好きになった事例などをお話いただきました。続いて、町田市保健所の健康食生活での取組報告と、クローバー保育園の野菜栽培の事例、八王子市のヘルシーメニュー推進事業の紹介と参加店(大戸原の食育セミナー等)の話題、南多摩保健所グッドバランスメニューキャンペーン事業紹介と、参加店の日野市の高幡不動増田屋、多摩市の炭茶屋さんと、稲城市の炭茶屋さんの木からの取組報告がありました。

その後の意見交換会では、地場野菜を使ったメニューのコンテストに参加した子供たちが、野菜に興味を持つと共に自信も持つことができたという話や、グッドバランスメニューキャンペーンに参加した飲食店が食育の授業を行ったことで、小学校で家庭や教員にマップを配布したところ、野菜の必要性は分かっているが外食でどうしたらよいかわからないので良かったと言われた、引き続きこうした取組を続けてほしいという発言がありました。また、ロビーでは食育に関する展示も行いました。

南多摩保健所では、今後も地域における食育推進関係者間の連携・協働を深めるための取組を推進していきます。



<事業概要：平成23年度>

平成23・24年度課題別地域保健推進プラン

地域における健康的な食選択推進事業(平成23年度～平成24年度)

事業の目標

健康に配慮したバランス食を提供する店が地域に増えるとともに、喫食者が健康に配慮したバランス食を選択することによって、糖尿病・メタボリックシンドロームの予防につなげる

H21・H22 「健やかな食生活のための環境整備事業」

- ツールの作成及び、ツールを活用した各市事業と連携した普及啓発 (①「野菜料理レシピ」、「野菜重量表示マーク」等食の提供者用 ②ポスター、栄養情報カード、ティッシュ等住民・市担当者用)
- モデル事業の実施 (①スーパーにおける「野菜の取れる弁当」の販売 ②宅配弁当施設における「献立表に野菜重量表示」及び「栄養情報カード添付」の実施)
- 特定給食施設における食教育の充実 等

さらに地域全体に広げ、定着を図る

H23事業内容

食提供者への働きかけ ～外食等の提供者が容易にバランス食の提供ができる環境づくり～

事業名	実施内容	実施時期	成果等
市販弁当買上調査	(1)弁当の買上げ(1市10店舗各2種類程度) 野菜料理重量、バランス等データベース化 (2)販売環境調査(価格等、惣菜コーナーの内容等) (実施)保健所・市健康課・地域活動栄養士	H24.2	市販弁当における野菜料理等の提供実態を把握し、バランス食を推進するために活用
給食の栄養実態調査	給食の栄養実態調査 (保育園3市44園、公立小中学校 5市)	H23.12	給食での年代別、野菜の提供状況を把握し、バランス食の推進に活用
食品事業者意識調査	食品衛生実務講習Aにおける、食育関連の認識度調査 (講習会受講しつ方式・350人)	H23.10・11	バランス食提供に向け、食品事業者へアプローチする上での基礎資料として活用
野菜に関する情報提供協力	食品衛生実務講習Aにおける、飲食店等による野菜料理レシピの配布協力(51施設・店舗)	H23.10・11	飲食店等から栄養・食生活情報発信を推進
食品事業者との情報交換会	「健康に配慮した食事やお弁当・どうしたら売れる?」 (座長)松月弘恵氏・神奈川工科大学准教授 (参加者)食品事業者と行政 20人	H23.11.24	健康に配慮した食提供の課題等についての相互理解を深めた。

食育関係者との連携 ～住民がバランス食を選択する能力を身につけるためのネットワークの強化～

事業名	実施内容	実施時期	成果等
食育推進関係者研修会(1)	「ステップアップ・食育推進 周知から実践へ」 ～第2次食育推進計画がめざすもの～ (講師) 齋藤直美氏・神奈川工科大学教授 (参加者) 食育関係者 45人	H23.12.6	国の2011年度からの食育推進基本計画について、食育関係者の理解を深めた
食育推進関係者研修会(2)	弁当の日に託した夢 ～変えたかったのは～ (講師) 竹下和男氏・元香川県小・中学校長 (参加者) 食育関係者 85人	H24.1.30	小・中学校での食育の実践事例を通じて、食育推進者の具体的な取り組みのヒントを得た
食育シンポジウム	①講演：食が育む心(室田洋子氏・臨床心理士) ②食育事例紹介(保育園・学校・食品事業者)・意見交換 各組織での食育活動の現状と課題の情報交換・意見交換	H24.3.6	多様な主体が実施する食育推進活動について相互に学び、理解を深める
食育関係者ネットワーク会議	(参加者) 各市健康課・保育園・学校給食栄養士・栄養士・地域活動栄養士、保健所栄養士、給食研究会 (アドバイザー) 松月弘恵氏・神奈川工科大学准教授	H24.3.15	地域実態や課題の共通理解や、連携・役割分担の理解を深め、食育推進者のネットワークを構築する

H24事業内容(案)

- ◆バランス食と食選択情報の同時提供モデル事業
 - ・バランス弁当
 - ・スーパーマーケット、仕出し・弁当屋等
 - ・バランスランチ
 - 健康づくり協力店、公的施設内食堂等
 - ・バランス給食
 - 特定給食施設

バランス食を提供する際に、合わせて栄養情報やバランスのとれた食事を選択するための情報を同時に提供する

- ◆食提供者との情報交換会の開催
- ◆特定給食施設等で喫食者と家庭への食教育

- ◆食育関係者に対する研修会の実施

- ◆食育関係者ネットワークの開催
- 普及啓発活動の戦略策定

- ◆市事業・栄養展等で統一テーマの普及活動

<事業概要：平成24年度>

平成23・24年度課題別地域保健推進プラン

地域における健康的な食選択推進事業(平成23年度～平成24年度)

事業の目標

外食や中食(弁当等)の利用が増えていることから、健康に配慮したバランス食を提供する店が地域に増え、喫食者が健康に配慮したバランス食を選択できる環境を整備することによって、糖尿病・メタボリックシンドロームの予防につなげる

H23

実施状況

「地域におけるバランス食提供」の準備
実態調査、アンケート、情報交換会、食育関係者との連携強化等

H24

実施事業

◆グッドバランスメニューキャンペーン

目的 ○地域にバランスを考えた食事を提供する店舗を増やし、住民が健康的な食を選択できる環境づくり
○市が食品事業者と連携して地域における食育を展開していくための下地づくり

【運営体制】

市、食育推進関係者、食品事業者、商工会等が参加し、キャンペーンの企画運営を行い、連携を推進

	委員構成	検討事項
推進委員会	・学識経験者 ・南多摩食品衛生協会代表 ・JA東京みなみ代表 ・日野市農業協同組合代表 ・多摩市健康推進部長 ・稲城市健康推進部長 ・南多摩健康推進部長	・キャンペーンの企画 ・応募募集策定 ・優秀作品の選考と表彰 ・共通POPのデザイン ・その他
各市実行委員会	・学識経験者 ・食品事業者代表 ・商工会・商工会代表 ・農業生産者 ・市健康推進部長 ・市健康推進部長 ・南多摩健康推進部長	・マップデザイン作成 ・広報活動(周知、啓発) ・その他

【スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
第1回推進委員会 4/17 定例会 応募募集策定 スケジュール		健康づくり環境 研修会 6/28	メニュー募集期間	第2回推進委員会 (選考委員会) 8/8 優秀メニュー選考 共通POP設計	優秀メニュー表彰式 8/27	共通POP印刷	キャンペーン実施期間			食育シンポジウム 第3回推進委員会 8/8 結果報告
	第1回実行委員会 (5/21～23) 広報活動 周知、啓発 スケジュール		マップデザイン(案)作成 共通POP案の作成	第2回実行委員会 8/21日～27日 マップデザイン作成 広報方法	マップの印刷	マップの印刷	キャンペーン参加店・利用アンケート		アンケート集計・分析	
			募集広報		キャンペーン店舗					報告書 作成

【事業内容】

1 グッドバランスメニューの募集

参加を通し食品事業者へ普及啓発を行いグッドバランスメニュー提供店を増やす。

【募集期間】平成24年6月～7月

【内容】

- ・飲食店・給食施設、弁当店、仕出し、スーパー、コンビニ等を対象にメニューを募集
- ・応募方法周知を兼ねた講習会を開催
- ・食品事業者、市商工会等へ募集PR
- ・市販弁当買上調査協力店への参加呼びかけ
- 【募集条件】
- ・日野市、多摩市、稲城市に所在し、営業許可を得ている食品事業者
- ・下記の(1)または(2)に該当する健康に配慮した応募メニューをキャンペーン期間中に提供できること
- (1)主食・主菜・副菜がそろったメニュー
- (2)野菜を120g以上使用したメニュー

➡ 3市103店舗から応募

2 優秀メニューの選考と表彰

応募メニューの中から特に優れたメニューを選出し表彰

【内容】

- ・第2回推進委員会優秀メニュー9点を決定(8/8)
- ・表彰式で表彰状贈呈(9/27)

3 キャンペーンの実施

参加店で応募メニューを提供することで、健康的な食を市民が体験

【実施期間】平成24年10月～11月(2ヶ月間)

【内容】

- ◆「健康にいたるきマップ」(日野・多摩・稲城市版)の作成、配布
- ・参加全103店舗の情報掲載
- ・市、関係機関、保健所窓口、参加店で配布
- ・保健所ホームページに掲載
- ◆参加店にPOPを作成、配布(店内掲示)
- ◆広報活動
- ・日野市、多摩市、稲城市広報
- ・いなぎバス、多摩市ミニバス広告掲載
- ・いなぎ健康祭、日野市産業祭、栄養展
- ・日野ケーブルテレビ、多摩テレビ放映



4 食育シンポジウム

グッドバランスメニューキャンペーンの報告会を兼ねて、「だっぴり野菜でグッドバランス」と題し、野菜をテーマに実施。

【実施日】平成25年2月12日(火)

【会 場】

- 多摩市永山公民館 ヘルパール
- 【参加者】キャンペーン推進委員会委員、実行委員会委員、参加店、関係5市、保育園等給食施設職員等
- 【内 容】参加店3店から取組発表、意見交換会等

5 参加店アンケート結果(85店舗回答)

◆来店者数

増えた: 18.2% 変化なし: 81.2%

◆参加した感想(複数回答)

まだ機会があったらやってみたい	52%
来店者との食談のきっかけになった	45%
来店者に喜ばれた	44%
キャンペーンを知って来店したお客様がいた	42%

◆バランスや野菜に配慮した食事に対する感想(複数回答)

野菜の量(120g)が理解できた	78%
バランスや野菜量に配慮したメニューの必要性が理解できた	52%
主食・主菜・副菜のバランスが理解できた	51%

6 お客様アンケート結果(797名回答)

◆利用について

初めて: 18.2% 以前から: 80.8%

◆食べた感想(複数回答)

美味しかった	76%
まだ食べたかった	48%
野菜が多くてよかった	37%
バランスが良かった	35%

成果・課題

- 【成果】
- 103店の食品事業者の参加が得られた
- 参加店の活性化が図れた
- 参加店が野菜やバランスに関する知識・理解が得てきた
- 管内3市・商工会・JA・食品衛生協会等と連携が図れた
- 【課題】
- ◆広報、市民への周知
- ◆各市事業との更なる連携
- ◆実施体制の確保